

2 弥生地区

20 道玄町会

歴代会長

故 佐野 忠平 昭和27年～平成 5年
故 倉持 三郎 昭和26年～平成12年
故 河野 市藏 昭和13年～平成17年

故 新井 章介 平成18年～平成21年
小澤 巖 平成22年～平成25年
佐野 礼治 平成26年～平成30年
馬場 光男 令和元年～

町会のあゆみ

「道玄町会」は昭和 5 年に結成されましたが、終戦とともに政令により解散させられました。

昭和 27 年に再結成され、佐野忠平氏が町会長に就任しました。

同年、町内有志によって浄財が集められ、敗戦によって疲弊した青少年に夢を与えるために小神輿を購入する事になりました。

娯楽の少ない時代背景もあって、当町会が宮元でもある本郷氷川神社のお祭りには大人から子供まで大勢の人が集まり、たいへんな賑わいを見せたと語り伝えられています。

「地域の人達が喜ぶ顔を見たい！」と言う伝統はその後も引き継がれ「お預かりした町会費は住民の方々に喜んでもらうために還元する！」を合い言葉に毎年いろいろな行事を開催しています。

町会の活動

基本理念は「地域住民の親睦を図り、みんなで協力して明るく住みやすい街づくりを目指す」です。年間を通して様々な行事を開催しています。

新年会、潮干狩り、盆踊り、すいか割り大会、氷川神社の御祭禮、ハロウィン、日帰りバス研修、防災訓練、もちつき大会、年末夜警等。

町会組織は会長、副会長、会計、監査に加え総務部、青年部・女性部、柏会(高齢者)・子供会・防犯交通部・防災防火部・祭祀部・リサイクル部などがあります。

町名の由来

「道玄町」は渋谷区の道玄坂と混同され、時として肩身の狭い思いをする事があります。

しかしながら、渋谷区の道玄坂の言われは、江戸時代の「江戸名所絵図」によると「和田義盛一族が滅亡(鎌倉時代)した後、大和田道玄が残党を引き連れ、窟中に住みて山賊を業となす。故に道玄坂というなり」と明記されています。

一方で道玄町の由来は諸説あるようですが町会の中心部にある真言宗豊山派・福寿院の石碑には、「伝説にこの地を堂換と称せしが時を経て道玄と呼ぶに至るとある。他にもこの地に「道玄」と言う修道僧が住んでいたので「道玄」と呼ぶようになった、と言う説も有り、山賊より胸を張っても良いだろう！と思います。



町会行事にも利用される災害時避難誘導旗